

点検支援技術を用いた橋梁点検講習会

平成31年2月の定期点検要領改定により、ドローンや高性能カメラ等の「点検支援技術」が活用可能となりました。また橋長が短く、橋の下を人が通行することの無い「特定の溝橋」については点検が合理化・簡略化されました。

本講習会は、地方自治体職員を対象とした点検支援技術と溝橋点検の講習会を室内講義及び現地での実演により、以下のとおり開催しました。

＜開催概要＞

東濃地区	令和元年8月26日（月） 恵那市内 県及び4市町村及び1民間企業の35名が参加
飛騨地区	令和元年9月18日（水） 飛騨市内及び高山市内 県及び6市町村及び5民間企業の18名が参加
西濃地区	令和元年9月19日（木） 瑞穂市内 県及び13市町村及び8民間企業の38名が参加

＜実施内容・紹介技術＞

	東濃地区	飛騨地区	西濃地区
座学の様子			
溝橋点検の実演	ウェアラブルカメラによる撮影の実演 	溝橋点検の実演 	全天球カメラによる画像撮影と診断の実演 
点検支援技術の紹介	ドローンによる点検画像配信技術 	ドローンの機体性能の説明 	遠方のひび割れの記録システム 
	地上レーザーによる点群データ・パノラマ画像 	ドローンによる近接目視代替点検の実演 	R0床版のひび割れを記録する撮影システム 